

令和7年度はこれでいい

「今」と「未来」をつなぐまちづくりへの挑戦

いまこそ!!
みんなでデザイン

令和7年度がスタートしました。昨年度を振り返ってみますと、長く続いたコロナ禍の影響も少なくなり、社会、経済、全般に回復の兆しを感じた1年となりました。本町においては、第4次久山町総合計画の将来像である「だれもが生き生きと暮らせる『健康田園都市』の実現」に向けて、「健康福祉」「教育」「産業」「暮らし」「地域経営」のそれぞれの分野で政策を進め、着実な成果を上げることができました。

令和7年度も町民の皆さまへの物価高騰対策や災害対策に注力し、暮らしの安心と安全の確保を図ってまいります。また、将来像の実現に向けて、各種政策の推進を加速するとともに、未来に向けて、「人と地域資源」のつながりを深めながら、「久山型地域循環社会」の構築にも着手してまいります。

今年度も皆さまのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

久山町長 西村 勝

一般会計予算の編成概要

令和7年度の一般会計予算は、歳入歳出予算の総額を69億円とし、令和6年度より5億2300万円(8.2%)増額しています。歳入においては、固定資産税などの税収で若干の増額を見込んでおり、ふるさと応援寄附金も増額する見込みです。

前年度に引き続き、国県支出金や町の基金を活用しながら、物価高騰対策および町の未来を見据えた投資的事業を同時に推進する編成としています。

各種事業では、予算の有効性を高めるため、担当課において目的や緊急性、重要性、効果性などを検証し、サービスの質の向上と効率化を図りながら、総合計画の4年目として着実に歩を進めます。

注釈

※第4次久山町総合計画
町の10年間のまちづくりの方針を定めた計画

第4次総合計画
本編・概要版

一般会計のおもな事業

令和7年度の事業の中で、新たに取り組む事業や内容が充実した事業、物価高騰対策として実施する事業などについて紹介します。

※画像はイメージです。

NEW 新たに取り組む事業

↑UP 拡充した事業

物価対策 物価高騰対策として実施する事業

NEW **↑UP** 子ども医療費拡充
民生費……8326万円

子ども医療費助成制度の対象年齢を高校生世代まで拡充し、1カ月の通院にかかる負担額を原則500円とします。
(就学前までは無料)



NEW 放課後数学塾の開講

教育費……300万円

中学生を対象に放課後、楽しみながら数学を学ぶことができる数学塾を開講します。



NEW 久山スタディールーム
設置

教育費……250万円

受験シーズンの中高生の学習場所の確保と学習をサポートする「久山スタディールーム」を設置します。

NEW 子ども会育成会・シニアクラブ活動支援

教育費……80万円

民生費……70万円

各行政区の子ども会育成会やシニアクラブの新たなつながりを生み出す活動を支援します。



NEW 首羅山遺跡ガイダンス
整備事業

教育費……5345万円

国史跡首羅山遺跡を通して町の魅力を発信するためのガイダンス設置に向けて、用地購入や実施設計を行います。

NEW 小学生キャリア教育支援

教育費……86万円

キャリア教育を支援するため、小学4年生を対象にキッザニアでの体験学習を実施します。



NEW 桜いっぱいのもちづくり
土木費……300万円

久山町の春を彩る桜の名所を残すため、上久原区にある久山町総合運動公園に桜の木を植樹していきます。

NEW 地産地消啓発チラシ作成
農林水産費……30万円

久山産米などの地産地消に向けて、生産者と消費者をつなぐ広報啓発活動を展開します。

NEW バイオ炭の効果検証
総務費……48万円

農産物の付加価値を高める一助として、脱炭素や土壌改善の効果が見込まれるバイオ炭などを活用した試験栽培を行います。



↑UP

シニアチャレンジ 応援事業

民生費……………1218万円
70歳以上の方を対象にイコバス無料券24枚と町内の映画館や飲食店などで使える500円クーポン24枚を交付します。



クーポン24枚すべて使用すると
「おかわりクーポン2,000円分」を
追加交付します！

↑UP

ひさやまブックツリー 教育費ほか……………129万円

乳幼児健診時に成長に応じた絵本を配布し、読み聞かせの輪を広げるためのイベントなどを実施します。



物価対策

指定ごみ袋20枚 全世帯配布

総務費……………989万円
物価高騰対策として、全世帯に指定ごみ袋(大)を20枚配布します。

物価対策

高校生等通学定期 購入補助

総務費……………250万円
通学定期券を購入する高校生や大学生などの保護者に対して、学生1人当たり年間1万円を上限に補助します。

物価対策

小学校給食費助成

教育費……………742万円
物価高騰対策として、給食費のうち、1食あたり60円を助成します。

物価対策

水稲農業 物価高騰対策支援

農林水産業費……………513万円
物価高騰対策として、水稲農業従事者に対して、栽培維持にかかる物価高騰分30%を支援します。

物価対策

プレミアム付き商品券 発行補助

商工費……………996万円
物価高騰対策として、プレミアム率を20%とし、電子版と紙版を合わせた発行額9600万円分の販売を補助します。

シニアスマイル講演会

民生費……………153万円
65歳以上の方を対象に健康維持に大切な「笑い」をテーマにした特別講演会を開催します。

身近な公園の遊具設置

土木費……………800万円
引き続き、身近な公園への遊具設置を進めます。

教育施設環境整備

教育費……………6680万円
熱中症対策や災害時避難施設の環境改善のため、久原小学校体育館と猪野かみじ会館柔剣道場のエアコン整備、中学校グラウンド照明のLED化、中学校トイレの温便座化、山田小学校体育館床改修など教育環境を整備します。



ひさやまBond 総務費……………149万円

社会で活躍する方をゲストに招いて体験型講座を行い、町民の皆さんの学び合いの輪を広げます。



ひさやまてらこや+ 総務費……………87万円

子どもから大人まで年齢問わず、デザイン思考などを通じて社会で活躍する力を身につける講座を開催します。

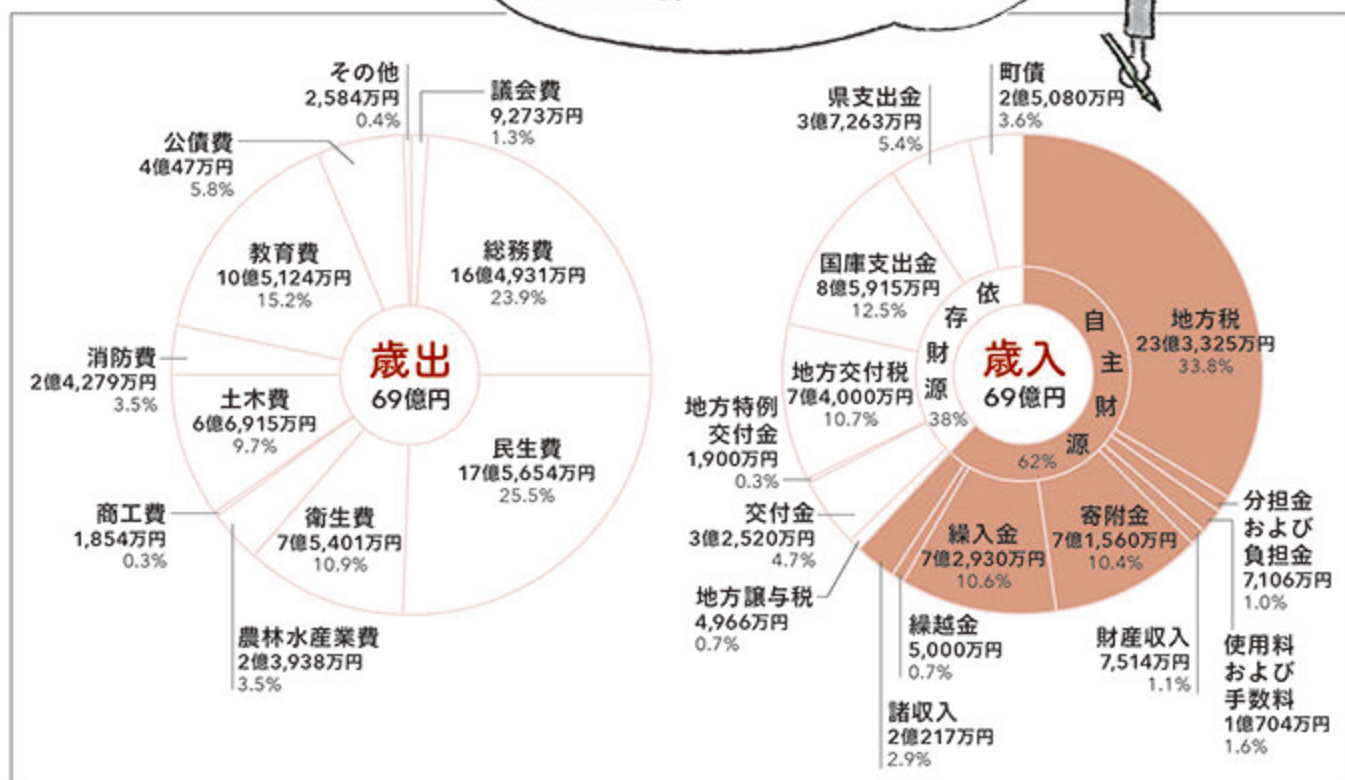


一般会計予算

総額は69億円です。

久山町では、人口数に比して自主財源の占める割合が大きいのが特徴です。

開発を抑制し、自然を守りながらも町内3カ所の工場団地など計画的に企業誘致を行ってきた成果といえます。



特別会計予算

特別会計	当初予算額	増減率
国民健康保険特別会計	10億6,836万円	前年度比 7.9%↑
後期高齢者医療特別会計	2億 230万円	前年度比 2.8%↑



特定の事業について、資金運用の状況をよりわかりやすくするために一般会計と分けています。

公営企業会計予算

公営企業は、水の供給や下水の処理などで得られる収入をもとに経営を行っており、民間の企業のように企業会計原則が適用されます。久山町には水道事業会計と公共下水道事業会計があります。



水道事業	収益的	収入	2億8,115万円
		支出	2億6,395万円
	資本的	収入	3億4,218万円
		支出	5億8,349万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億4,131万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額4,261万円、当年度分損益勘定留保資金1億159万円および建設改良積立金9,711万円で補てんする。

公共 下水道事業	収益的	収入	5億4,410万円
		支出	4億8,654万円
	資本的	収入	2億8,664万円
		支出	4億7,266万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する1億8,602万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額2,337万円、過年度分損益勘定留保資金1億6,265万円で補てんする。